



2020年2月14日

各位

会社名 日本グランデ株式会社  
 代表者名 代表取締役 平野 雅博  
 (コード番号: 2976 札幌アンビシャス)  
 問合せ先 常務取締役 矢代 俊二  
 (TEL. 011-211-8124)

### 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2020年2月14日開催の取締役会において、2019年6月19日の「札幌証券取引所アンビシャスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想及び配当予想について、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ● 2020年3月期 通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

##### 1. 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,425	364	333	218	195.20
今回修正予想(B)	4,467	282	291	189	169.17
増減額(B-A)	△958	△81	△41	△29	
増減率(%)	△17.7	△22.5	△12.5	△13.3	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	5,024	339	317	203	203.80

- (注) 1. 2019年2月28日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 今回修正予想の1株当たり当期純利益は、2019年6月18日で払込が完了した公募による新株式数(150,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

##### 2. 通期連結業績予想の修正理由について

当社グループの主力事業である不動産分譲事業におきまして、2019年10月の消費税率の引き上げによる消費者マインドの低迷、マンション及び戸建用地の高騰と人手不足等の要因による建築費の高騰を受け、販売価格の高止まりの状態が続いており、その結果、販売環境が期初計画以上に厳しい状況となり、一部のマンション販売が低迷し売上高が当初の計画を大きく下回る見込みとなりました。

利益面では、上記マンション販売の低迷による売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の減少を補うため、売上原価や販売費及び一般管理費等の抑制に努めましたが、マンション販売の低迷による減少分を補う事はできず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純

利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

この結果、2020年3月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正することといたしました。

当社グループとしましては、引き続き販売を促進していくとともに、販売体制を強化し販売の改善に努めております。また、地下鉄・市電等の駅近徒歩圏内の立地環境の良い用地の仕入にも注力し、業績の向上に努めてまいります。

(注)上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績等は、今後の様々な要因の変化によって予想数値とは異なる結果となる場合があります。

## ● 配当予想の修正について

### 1. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年11月14日公表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	—	—	10.00	10.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	5.00	5.00

### 2. 配当予想の修正理由について

当社は、利益還元を重要な課題と考えておりますが、将来の事業拡大に備え、内部留保による経営基盤・財務体質の強化を図りながら、可能な限り株主の皆様へ還元していくことを利益配分に関する基本方針と考えております。

上記の基本方針及び2020年3月期業績見通しを勘案し、従来未定としておりました期末配当について、1株当たり10円とさせていただきます。

なお、この配当予想は2020年6月下旬開催予定の当社定時株主総会の決議を経て実施する予定であります。

以 上